

# 平成30年 年頭所感



## 一般社団法人組込みシステム技術協会 会長 竹内 嘉一

あけまして、おめでとうございます。  
旧年中は、当協会活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝いたします。  
本年も引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

政府より第4次産業革命の先にあるSociety5.0（超スマート社会）の実現に向けてConnected Industriesが打ち出され、今後益々さまざまなモノとサービスがつながるCPS/IoTが不可欠なことは言うまでもありません。

この時流の中で、エッジコンピューティングに代表される組込み技術の重要性が再認識され、センシング、ロボティクス、ビッグデータ、人工知能、セキュリティといったデジタル化の潮流が革新的サービスを生み出し、組込みシステム業界も、モノの提供からサービスの提供へと変化を余儀なくされています。

これまで個社で対応してきたクローズなビジネスから、競争領域と協調領域を上手くバランスさせたオープンイノベーションへの変革、まさに、産業構造を変

えるパラダイムシフトが起こらんとしています。

JASAは、まさにこの協調領域の旗振り役として、『JASAの強みである組込み技術』と『進化するデジタル化の潮流』を掴み、このパラダイムシフトを推進する一端を担っていると考えています。

今年のJASA活動方針は、昨年に引き続き「連係と成長を育む環境の提供」「ビジネス創造と業界の活性化」「世界から注目されるJASA」を掲げ、これまで培ってきた土台の上に、温故知新の精神に則って各事業の新たな取組みと各支部との連携強化により拡充を図って参ります。

以下に新しい取組みの一端を示します。

### ①政策提案委員会の設置

まずは関係省庁との関係強化を図り、産学官の連携を推進し、JASAの更なるステータスの向上と、組込みシステム業界への政策提言へ至る道筋の構築に注力いたします。

### ②技術本部：技術高度化委員会の刷新

IoT時代の潮流に乗るために、「技術高度化委員会」を「IoT技術高度化委員会」に改め、5つのワーキンググループを新設し、JASA会員に留まらず外部の有識者を参集して、JASAの新たな強みの創出を狙います。

### ③ET事業本部：展示会事業の拡充

支部活動と協調し、地方での展示会事業の立上げを推進し、加えて、他団体・機関が実施しているイベントとの連携、融合を進め、市場セグメントの拡大を狙い、出展社及び来場者の範囲拡大を推進します。

### ④人材育成事業本部：ETECのステータス向上策の展開

ETECを「英検×TOEIC」のように「組込み技術者試験×ETEC」と認知されるよう、まずは会員企業での普及推進を起爆剤とし、企業や学校での活用を推進させ、広く普及する事を目標とした施策を検討、策定していきます。

### ⑤事業推進本部

各事業本部でのアウトプットを活用し、各支部と地域連携をすすめ、国内外の企業・機関・団体とのコラボレーションを推進します。加えて、外部からの情報を各事業本部に発信・共有することで、新たな事業企画の創出を狙います。

このような活動を中心に、皆さんと一緒に力を合わせ、将来に向けた更なる第一歩を踏み出していきたいと思います。共に頑張っていきましょう。

## 謹んで新春のお慶びを申し上げます

平成三十年 一月

会 長  
兼専務理事・事業推進本部長

竹 内 嘉 一

副 会 長 松 本 浩 樹

副 会 長  
兼人材育成事業副本部長

加 賀 谷 龍 一

人 材 育 成 事 業 本 部 長 杉 本 浩

副 会 長

佐 野 勝 大

技 術 本 部 長 竹 岡 尚 三